

@PATIENTNAME 様 大腸化療(アービタックス+イリノテカン アレルギーレジメン)

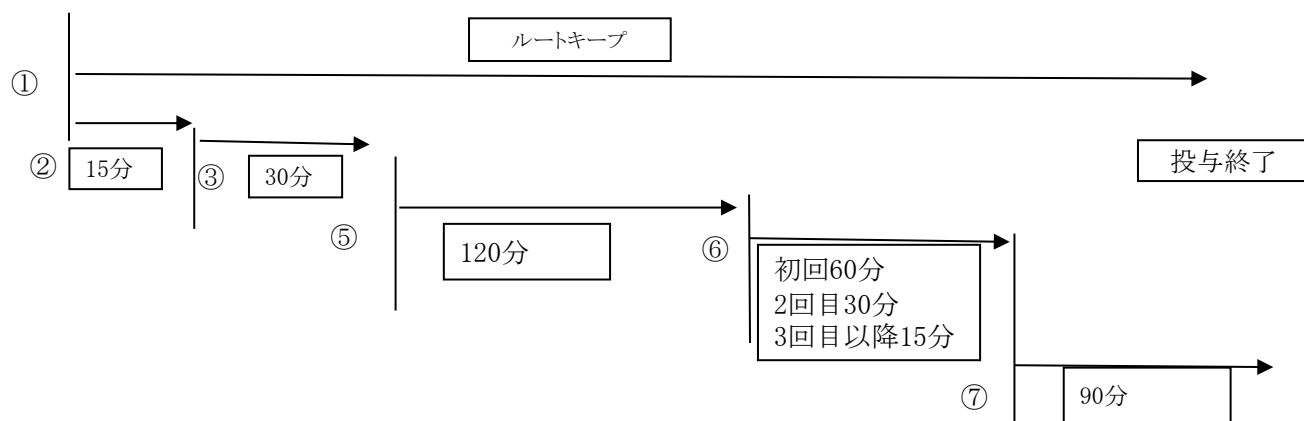
指示者	@USERNAME	身長	HEIGHT01_D0	cm
コース数		体重	HEIGHT01_D1	kg
		体表面積	#VALUE!	m <sup>2</sup>

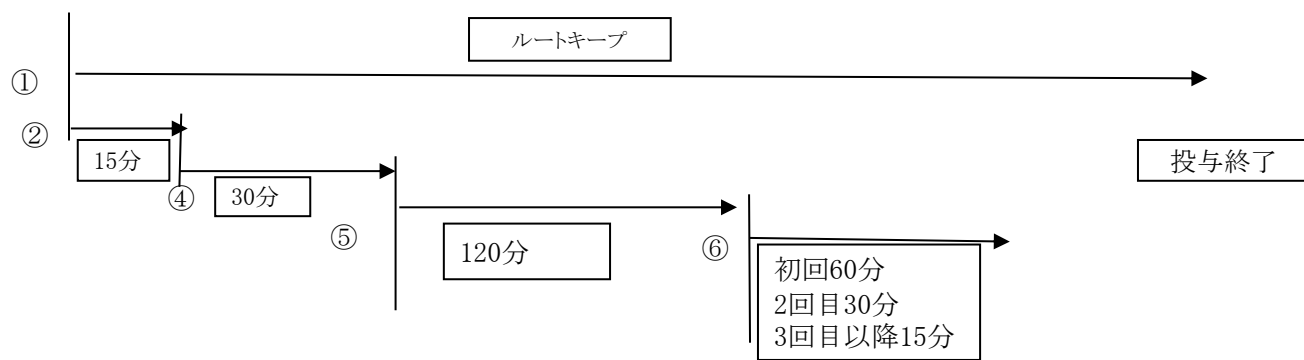
	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	day1	day8
①	生理食塩水500mL	ルートキープ	点滴		
②	ポララミン注1A 生食50mL	15分	点滴		
③	グラニセトンバッグ デカドロン3.3mg 2A	30分	点滴		
④	生食100mL デカドロン3.3mg2A	30分	点滴		
⑤	アービタックス 250mg/m <sup>2</sup> 生食100mL ( )mg/body #VALUE! 初回の計算値 #VALUE! 2回目以降の計算値	120分	点滴		
⑥	経過観察	初回60分 2回目30分 3回目以降15分	経過観察		
⑦	トポテシン150mg/m <sup>2</sup> 5%糖液250mL ( )mg/body #VALUE! 計算値	90分	点滴		

投与手順

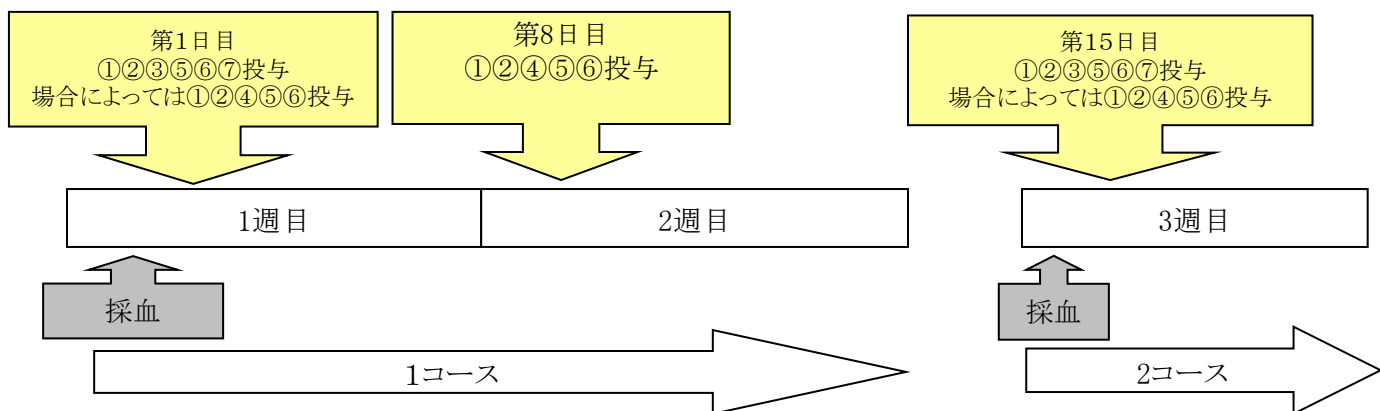
day1



day8



スケジュール



**注意**

皮疹以外の副作用が強い際は、トポテシンを原則80%量で、その時はアービタックスは減量の必要なし。  
 皮疹が強いときはアービタックス減量以下資料を参照  
 血液毒性が強く、トポテシンをスキップする場合はday1であっても、アービタックスのみの投与あり。  
 皮膚乾燥にはヒルドイドやウレパール  
 EGFR陽性の患者のみ適応あり。  
 KRAS 変異の場合は効果が悪いとの報告あり。  
 アービタックス終了後の生食は経過観察のためである。特に初回はインフュージョンリアクションに気をつける。

**副作用**

血液毒性

有害事象名	n=39	
	全Grade (%)	Grade≥3 (%)
白血球減少	25 (64)	4 (10)
リンパ球減少	24 (62)	4 (10)
好中球減少	21 (54)	9 (23)
Hb減少	16 (41)	3 (8)

薬剤費 (体表面積1.5m<sup>2</sup>の場合)  
 コスト(1.5 m<sup>2</sup>の場合)  
 1回目  
 注射薬価: 215,364円+32,672円  
 =248,036円  
 2回目以降  
 注射薬価: 143,576円+32,672円  
 =176,248円

非血液毒性

有害事象名	n=39		有害事象	n=39	
	全Grade (%)	Grade≥3 (%)		全Grade (%)	Grade≥3 (%)
ざ瘡様皮疹	38 (97)	2 (5)	ざ瘡 (にきび)	34 (87)	2 (5)
下痢	29 (74)	7 (18)	発疹	25 (64)	0
食欲不振	29 (74)	4 (10)	皮膚乾燥	21 (54)	0
口内炎	25 (64)	0	そう痒症	19 (49)	0
疲労	24 (62)	1 (3)	ざ瘡様皮膚炎	3 (8)	0
悪心	23 (59)	1 (3)	丘疹	1 (3)	0
低Mg血症	20 (51)	1 (3)	体重減少	18 (46)	0
脱毛症	19 (49)	0	嘔吐	13 (33)	0

皮疹CTCAE ver3によるGrade

有害事象	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4	Grade5
皮疹 落屑	自覚症状を伴わない斑状/丘疹状の皮疹または紅斑	掻痒感や随伴症状を伴う斑状/丘疹状の皮疹または紅斑 体表面積の50%以下を占める落屑	高度又は全身性の紅皮症や斑状/丘疹状/小水泡状の皮疹 体表面積の50%以上を占める落屑	全身性の剥脱性/潰瘍性/水泡性皮膚炎	死亡

Grade3以上の皮膚症状発現時の対応

Grade3以上の皮膚症状の発現回数	アービタックスの投与	投与延期後の状態	用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目の発現時	投与中止	-	-

**効果**

国内第II相試験 (EMR62202-049/CA225-259)

・奏効率 (RECIST)

CR	PR	SD	PD	NE	合計	奏効率
						[95%信頼区間]
0例	12例	13例	14例	0例	39例	30.80% [17.0-47.6]

- ・奏功期間の中央値: 3.8(1.1-6.7)か月
- ・PFS中央値: 4.1ヶ月
- ・無増悪生存率: 3ヶ月-53.8%、6ヶ月-23.9%

BOND試験 (イリノテカンを含む化学療法不応となったEGFR陽性の転移性大腸癌329例)

	アービタックス+イリノテカン	アービタックス単剤
奏効率	22.90%	10.80%
PFS	4.1ヶ月	1.5ヶ月
OS	8.6ヶ月	6.9ヶ月